



有斐閣



※執筆者の所属情報は書籍刊行時のものです。
書籍イメージをクリックすると、有斐閣の書籍詳細ページへ移動します。

第22回(2020年度)日本生産管理学会賞(理論書の部)

イノベーションを生む“改善” -- 自動車工場の改善活動と全社の組織設計

岩尾 俊兵 (明治学院大学専任講師) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 298ページ
定価 4,840円 (本体 4,400円) ISBN 978-4-641-16557-1

日本企業の競争力の源泉ともいわれる改善活動。細かな改良を地道に続けるというイメージは、
実態に即したものなのか。現場に入り込む事例研究やシミュレーションをも駆使し、
活動の連鎖から大きなイノベーションを創出する可能性と、その条件を探求した意欲作。



2020年商業学会賞奨励賞

買物行動と感情 -- 「人」らしさの復権

石淵 順也 (関西学院大学教授) / 著

2019年4月 A5判上製カバー付, 366ページ
定価 5,060円 (本体 4,600円) ISBN 978-4-641-16543-4

従来の研究に一石を投じ、感情の持つ非合理的側面だけでなく人の認知や合理性を支える側面にも光を当てて
買物行動の本質に迫る。実務的含意として、快感情への働きかけが消費者の継続的来店に繋がり、
企業と消費者の長期的な関係構築に有用なことを示す。



日本の人事部 HR アワード 2020・書籍部門入賞

「仕事映画」に学ぶキャリアデザイン

梅崎 修 (法政大学教授), 松繁 寿和 (大阪大学教授),
脇坂 明 (学習院大学教授) / 著

2020年7月 A5判並製カバー付, 238ページ
定価 2,860円 (本体 2,600円) ISBN 978-4-641-16569-4

昭和の名作から最近作、娯楽作から社会派まで、作品が映す仕事/雇用/経済を、
労働経済学者ならではの観点で解説。フィクションの世界に実際のデータを照らし合わせることで、
登場人物にとっての現実が私たちのリアルとして立ち上がる。想像力を養えるテキスト。





ロビイングの政治社会学 -- NPO 法制定・改正をめぐる 政策過程と社会運動

原田 峻 (金城学院大学講師) / 著

2020年4月 A5判上製カバー付, 336ページ
定価 4,730円 (本体 4,300円) ISBN 978-4-641-17455-9

NPO法の成立・改正過程に注目し、そこに大きく影響した社会運動(ロビイング)の動きを、多様な関係者へのインタビューと豊富な文書資料をもとに分析。ロビイングの存立(成功)条件・戦略とその帰結を、社会学の観点から明らかにする。



環境条約交渉の政治学 -- なぜ水俣条約は合意に至ったのか

宇治 梓紗 (京都大学講師) / 著

2019年10月 A5判上製カバー付, 256ページ
定価 5,280円 (本体 4,800円) ISBN 978-4-641-14932-8

多くの国が参加し、複数の争点をめぐって議論される条約交渉において、問題解決に効果的な制度と各国が合意可能な制度とを一致させるには、どのような要因が重要なのだろうか。水俣条約交渉の分析を通して、理想的な制度が成立するための要因を明らかにする。



日米同盟の絆 -- 安保条約と相互性の模索 増補版

坂元 一哉 (大阪大学教授) / 著

2020年4月 四六判上製カバー付, 384ページ
定価 3,520円 (本体 3,200円) ISBN 978-4-641-14936-6

日米安保条約の成立と改定の過程をあざやかに描き出し、高い評価を得た著作の増補版。初版刊行から20年が経ち、この間に公開された新史料や研究の進展をふまえた補註・補論を追加している。今後の日米安全保障協力のあり方を議論する際の基盤を提供する。

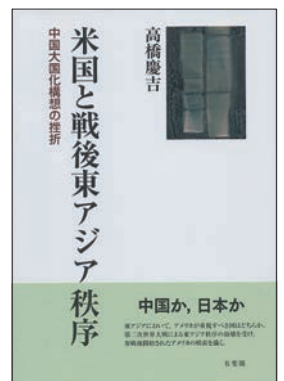


米国と戦後東アジア秩序 -- 中国大国化構想の挫折

高橋 慶吉 (大阪大学准教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 298ページ
定価 4,730円 (本体 4,300円) ISBN 978-4-641-14934-2

アメリカが重視すべきなのは、中国か日本か。中国をパートナーに東アジアの秩序管理を行うことを考えていたアメリカは、第二次世界大戦後、日本重視の路線へと、その東アジア政策を転換する。その過程を実証的に分析し、現代アメリカの東アジア政策の起源に迫る。

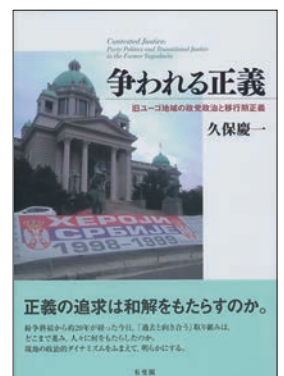


争われる正義 -- 旧ユーゴ地域の政党政治と移行期正義

久保 慶一 (早稲田大学教授) / 著

2019年12月 A5判上製カバー付, 290ページ
定価 4,620円 (本体 4,200円) ISBN 978-4-641-14931-1

旧ユーゴ地域では1990年代の激しい武力紛争後、2000年代以降は平和構築が進められてきた。同時に「過去と向き合う」取り組みも推進されたが、それは現在、どこまで進み、人々に何をもたらしたのか。独自のデータも用いつつ現地の政治的ダイナミズムをふまえて分析する。





地方財政改革の現代史

小西 砂千夫 (関西学院大学教授) / 著

2020年4月 A5判並製カバー付, 326ページ
定価 4,070円 (本体 3,700円) ISBN 978-4-641-16563-2

地方財政の制度形成と改革に関する戦後の歩みをとらえて、その底流に存在する考え方を検証、「統治の知恵」の重要性を指摘する。いかに制度のあり方を把握し、改革していくべきなのかについて、現実を見据え深く議論を展開し、大いに示唆に富む渾身作。



地方財政健全化法とガバナンスの経済学

-- 制度本格施行後 10年での実証的評価

赤井 伸郎 (大阪大学教授),
石川 達哉 (大阪大学招へい教授, ニッセイ基礎研究所客員研究員) / 著

2019年7月 A5判並製カバー付, 404ページ
定価 4,180円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-16545-8

地方財政健全化法の本格施行から10年。4つの健全化判断比率に基づく現行制度は自治体の財政健全化に寄与したのか? 制度の丁寧な解説とともに、データ・事例の丹念な考察と緻密な実証分析によって、同法のガバナンス効果を解明し、今後の課題を提示する。



現代大阪経済史 -- 大都市産業集積の軌跡

沢井 実 (南山大学教授・大阪大学名誉教授) / 著

2019年9月 A5判上製カバー付, 340ページ
定価 6,600円 (本体 6,000円) ISBN 978-4-641-16549-6

なぜ地盤沈下は止まらないのか——
戦中・戦後から90年代にかけての大阪経済の歩みをつぶさにたどり、日本の製造業の行く末、そして日本経済の将来を占う。大阪経済を支えたものづくり産業の軌跡を追いつつ、地域経済政策の実態を探究する。



文化と営利 -- 比較経営文化論

安部 悦生 (明治大学教授) / 著

2019年2月 四六判並製カバー付, 486ページ
定価 4,400円 (本体 4,000円) ISBN 978-4-641-16539-7

報酬などをもたらす営利活動や組織の特徴は何か? 両者の持ちつ持たれつの発展(共進化)はあるのか? この問いを明らかにすべく、社会、文化、制度、組織の本質に迫り、宗教、経営者企業、価値観、合理性などの概念を手掛かりに「皮膚感覚」を取り入れて国際比較を行う。



企業の課題と戦略

日本の持株会社 -- 解禁 20 年後の景色

下谷 政弘 (住友史料館館長, 京都大学名誉教授),
川本 真哉 (南山大学准教授) / 編

2020 年 10 月 A 5 判並製カバー付, 230 ページ
定価 4,290 円 (本体 3,900 円) ISBN 978-4-641-16573-1

日本で純粋持株会社が解禁されて約 20 年。
持株会社が担う機能やそれが導いた成果などについて実証分析を行い、
経済史、経営学、企業経済学、企業金融の領域から総合的にまとめ上げる。
解禁後の組織形態変化の実態、そしてそのパフォーマンスへの影響を追究。



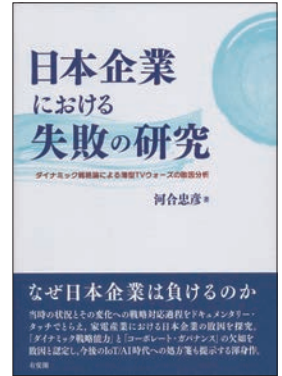
日本企業における失敗の研究

-- ダイナミック戦略論による薄型 TV ウォーズの敗因分析

河合 忠彦 (筑波大学名誉教授) / 著

2019 年 7 月 A 5 判上製カバー付, 354 ページ
定価 4,620 円 (本体 4,200 円) ISBN 978-4-641-16546-5

このまま日本企業は負け続けるのか——当時の状況、経営行動、意思決定過程をドキュメンタリー・タッチで捉え、家電産業における日本企業の敗因を探究。
「ダイナミック戦略能力」の欠如を敗因と認定し、今後の IoT/AI 時代への処方箋も提示する渾身作。



雇用関係と社会的不平等

-- 産業的シティズンシップ形成・展開としての構造変動

今井 順 (上智大学教授) / 著

2021 年 1 月予定 A 5 判上製カバー付, 378 ページ
定価 5,940 円 (本体 5,400 円) ISBN 978-4-641-17458-0

1980 年代半ば以降 30 年にわたる「雇用改革」は、雇用関係をどのように変え、
社会的不平等と排除のパターンにどのような影響を与えたのか。「産業的シティズンシップ」に着目し、
日本の正規雇用と非正規雇用の格差拡大について一貫した論理で整理する意欲作。



ビジネスに役立つ経営戦略論 -- 企業の戦略分析入門

澤田 直宏 (青山学院大学教授) / 著

2020 年 3 月 A 5 判並製カバー付, 392 ページ
定価 4,290 円 (本体 3,900 円) ISBN 978-4-641-16559-5

戦略の分析に重点を置いたテキスト。多くの読者にとって戦略は立案よりも分析・評価に携わる機会が多い。
実践性を備えつつも、学部生に難しい箇所には*を付けて、
まず基礎レベルのみを選択しても学習できる工夫がされている。コラムやケーススタディも充実。



組織行動論の考え方・使い方

-- 良質のエビデンスを手にするために

服部 泰宏 (神戸大学准教授) / 著

2020 年 9 月 A 5 判並製カバー付, 406 ページ
定価 4,290 円 (本体 3,900 円) ISBN 978-4-641-16566-3

2020 年現在の組織行動論領域において、学術的に確立された理論と測定尺度を概観。
実際の経営現象を測定・研究する際、実践家とともに理解を深め合える協働を求め、
経営学にとってのレリバンスとは何かを真摯に問う。研究者、ビジネスパーソン必読の書。

